

WebDB 参照項目を入力するためのレコード選択画面で キーワード検索に時間がかかる

2025 年 4 月

ディサークル株式会社

Web データベースの WebDB 参照項目を入力するために表示されるレコード選択画面で、キーワード検索を行うと時間がかかってしまう問題が確認されています(弊社管理番号 #38173)。以下の詳細をご確認のうえ、対応をご検討いただきますようお願い申し上げます。

1. 対象製品

POWER EGG3.0 Ver3.3c ~ 3.5c

2. 事象の詳細について

Web データベースのレコード編集画面で、「WebDB 参照項目」形式のフィールドの「検索して指定」リンクをクリックすると、レコード選択画面が表示されます。このフィールドでキーワード検索を使用する設定を行っている場合、レコード選択画面でキーワード検索を行うことができますが、Ver3.3c 以降の POWER EGG でこのキーワード検索に時間がかかる場合があります。

たとえば、Ver3.2c 以前では数秒で検索できていたものが、Ver3.3c 以降では 1 分以上かかってしまうことがあります。

3. 事象の原因について

Ver3.2c 以前では、文字列形式のフィールドの設定で、キーワード検索時に半角・全角、大文字・小文字を無視するかどうかを設定することが可能でした。WebDB 参照項目のレコード選択画面のキーワード検索の対象となる項目（「キー項目」「名称項目」「表示項目」に指定された項目）について、キーワード検索時に半角・全角、大文字・小文字を無視しない設定になっていた場合、キーワードとの単純な比較検索になるため、レコード選択画面でのキーワード検索は比較的高速に結果が表示されました。しかし、Ver3.3c 以降のフィールドの設定では、キーワード検索時に半角・全角、大文字・小文字を無視するか否かの設定項目がなくなり、レコード選択画面のキーワード検索で常に半角・全角、大文字・小文字を無視した複雑な検索を行うようになったため、検索に時間がかかるようになりました。

なお、Ver3.3c 以降、Web データベースのレコード一覧画面でのキーワード検索では、専用の検索サーバに作成されたインデックスを使用して検索することにより、半角・全角、大文字・小文字を無視して高速に検索を行うことが可能です。一方で、WebDB 参照項目のレコード選択画面のキーワード検索では、参照先の Web データベースに対するインデックスが不完全である場合を考慮し、検

索サーバを使用しない検索を行っているため、半角・全角、大文字・小文字を無視した検索を行うと時間がかかってしまいます。

4. 対応方法について

2025 年 7 月以降に予定しております下記修正パッチにて対応を行います。

- ・ Ver3.5c 修正パッチ 1
- ・ Ver3.4c 修正パッチ 5
- ・ Ver3.3c 修正パッチ 6

修正パッチ適用後、WebDB 参照項目のレコード選択画面でのキーワード検索で、「半角・全角、大文字・小文字を無視する」というチェックボックスが表示されるようになります。これにチェックを入れずに検索した場合、チェックを入れて検索した場合と比べて高速に検索できるようになります。

以上